



厚生労働省北海道労働局発表  
平成29年3月1日

担  
当

厚生労働省北海道労働局  
職業安定部職業安定課  
長 齊藤 洋悦  
地方労働市場情報官 杉本 秀司  
電話(011)-709-2311  
(内線3673)

## 北海道ブロックの雇用動向

(平成28年10～12月四半期分)

厚生労働省では、平成28年10～12月四半期分の全国各ブロック別に雇用動向を公表しました。

北海道労働局としても、これに合わせ雇用動向におけるトピック等を含む雇用動向を公表します。

## 北海道ブロックの雇用動向

**【平成28年10－12月期の雇用情勢判断】**  
**「雇用情勢は、改善が進んでいる」（判断維持）」**

平成28年10－12月期							
	就業地別 有効求人倍率	受理地別 有効求人倍率	新規求人数 増減率	新規求職者数 増減率	正社員 有効求人倍率	雇用保険 被保険者数 増減率	雇用保険 受給者実人数 増減率
	【季調値】 (対前期差)	【季調値】 (対前期差)	【季調値】 (対前期比)	【季調値】 (対前期比)	【原数値】 (対前年同期差)	【原数値】 (対前年同期比)	【原数値】 (対前年同期比)
	(単位:倍、ポイント)	(単位:倍、ポイント)	(単位:%)	(単位:%)	(単位:倍、ポイント)	(単位:%)	(単位:%)
北海道 ブロック	1.08 (-0.01)	1.04 (-0.01)	-0.7	-4.4	0.70 (+0.05)	+1.2	-6.8

※ 雇用保険被保険者数については、一般、高年齢、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

## 雇用動向におけるトピック

- 台風10号による漁具の被害や周辺海域の水温上昇などに伴い、イカ、秋サケ、サンマ、ホタテ等の主要鮮魚が記録的な不漁となったことから、食料品製造業においては、原料調達の困難化により生産量が減少しており、10～12月の食料品製造業の新規求人数は前年度比13.3%減少している。今後の雇用の動向について留意が必要である。
- 昨夏の台風10号によりJRが不通となるなどして、道東地域の宿泊人数が前年を下回り、10～12月の宿泊業の求人は道東地域を中心に前年同期比で減少し、8.0%の減少となった。昨年12月よりJR石勝線も再開し、道内全域では観光客の入り込みは依然好調なことから、今後は持ち直していくことが期待される。

## 企業の生の声

- 経験者を求めてはいても、結局採用後に社内で、教育・指導を行っているので、未経験者の採用も前向きに考えていく。(建設業)
- 日給制から月給制への賃金改定、資格手当の付与により賃上げ、徹底した雇用管理(時間外手当・休日出勤・深夜手当等の支給)を実施している。(建設業)
- 新規高卒者など無資格者を採用し、資格取得する際の時間的配慮や経費の一部を負担し育成している。有給休暇の計画的消化を促し、定着を図っている。(介護事業)
- 経営上賃上げは厳しいため、有給休暇の取得促進や人間関係などに注意を払い、働きやすい職場となるよう心掛けている。(介護事業)
- 今年度は過去最高の売上げで業績は順調であった。次年度も事業拡大を図っていきたい。新幹線工事や公共工事に伴う受注増を目指しているが、人材確保が課題となっている。(給食受託事業)
- これから雪まつりに向け観光客も増えてくると思われるが、台湾の直行便がなくなり、今後打撃を受けそうである。(宿泊業)

## 担当窓口の声(訓練窓口)

- 希望職種等が明確で、その職種に必要な知識・技能等を訓練で補い、積極的に求職活動をしている方が就職に結びつきやすい。また、希望職種を定めきれていない方であっても、訓練の受講を通じ、スキルの向上や意欲の喚起が図られ、就職に結びついていると感じる。
- 業種・職種に関わらず、求人者はパソコンスキルを働く上での必須要件と位置づけていることから、パソコンの基礎コースや事務分野系への受講希望者が多い。
- 職業に直結する資格取得を目指す訓練、短期間・短時間訓練、保育サービス付及びeラーニング等、求職者の訓練科目等へのニーズは多様化していると感じる。
- 若年男子の訓練希望者が少なく、中高年齢者や子育て女性等就業ブランクのある女性からの相談が多く感じる。